

令和2年度・冬

自作教材教具集



瀬谷養護学校
教育支援チーム

目次

太田のステージをもとに★の数で難易度を表しています。

1 認知

★★

洗濯ばさみ挟みの色マッチング …P 3

★★★★

カードを使った数の学習 …P 4

絵合わせ・文字構成 …P 5

★★★★★

なんばんめ? …P 6

目で見える数 …P 7

★★★★★★

方向について学ぼう …P 8

お金の学習セット …P 9

待ち合わせ学習プリント …P10

3 コミュニケーション

★★

コミュニケーションブック …P13

4 授業

「マスクをつける」カード …P14

歩行者信号機を渡ろう …P15

コメントうちわ …P16

バスケットボール (オリエンテ

ーション、活動の流れ、話し合い)

進路スゴロク …P18

情報モラルについて …P19

苗植え手順シート …P20

5 その他

左利き用学習プリント 消費税の計算 …P21

国数課題ボックス …P22

校内実習スケジュール表 …P23

誰でも簡単リースBOX …P24

2 操作

★★

お箸 寄せる動きの練習 …P11

2つ穴用補強シール貼り台 …P12

★は、太田のStage I 相当です。

★★は、太田のStage II 相当です。

★★★は、太田のStage III - 1 相当です。

★★★★は、太田のStage III - 2 相当です。

★★★★★は、太田のStage IV 相当です。

教材教具名	洗濯ばさみ挟みの色マッチング	分類	認知★★
		授業名	個別課題学習(小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯ばさみとシールの色のマッチング 手指の巧緻性を高める。 手指の力をつける。 		

教材教具の概要



使用方法>

- 洗濯ばさみとシールの色が同じ場所に挟むことを教える。
- 利き手で洗濯ばさみをつまみ、もう片方の手に持っている板に挟む。

<材料>

- 洗濯ばさみ、シール、スチロール板

<工夫点>

- 挟む場所を明確にできるように、シールを貼り、更にマッチングができるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 色のマッチングが完璧になった。
- 最初は、堅そうにしながら洗濯ばさみを挟んでいたが、回数を重ねていくうちに慣れてきたため、力がついてきたと感ずることができた。

教材教具名	カードを使った数の学習	分類	認知★★★★
		授業名	個別課題/自立活動(小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・数字と数量を一致させることができる。 ・数を数えて確認することができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・数字を見て、同じ数のリンゴのカードを貼る。

<材料>

- ・フォトブック、台紙、カード、マジックテープ

<工夫点>

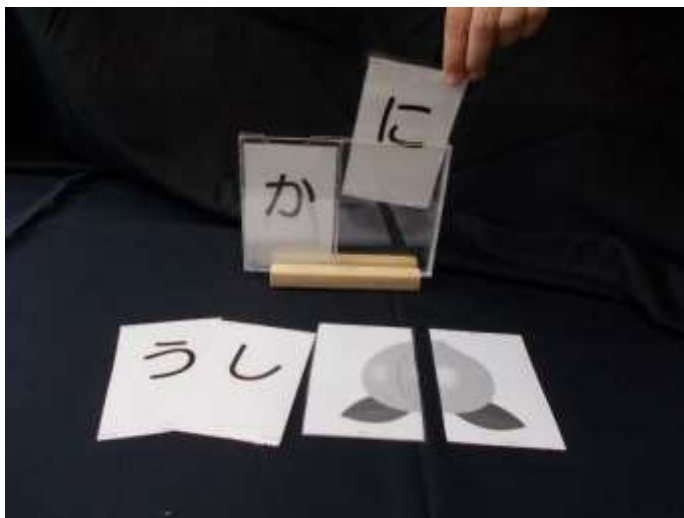
- ・1から順に並べたり、順不同に並べたりすることができるようにした。
- ・指さして数えやすく、児童が確認しやすいサイズにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・数を丁寧に数えるようになった。

教材教具名	絵合わせ・文字構成	分類	認知★★★
		授業名	個別課題(小学部)
ねらい	・文字構成の学習		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・文字面をみて単語を作る。
- ・裏に返し絵が完成しているかを確認する。

<材料>

- ・アクリル板、紙(カード)

<工夫点>

- ・アクリルを使い両方向から見られるようにして絵合わせ・文字構成の両方ができるようになっている。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・楽しく学習を行うことができた。

教材教具名	なんばんめ？	分類	認知★★★★★
		授業名	国語・数学・自立活動(高等部)
ねらい	・左右から何番目にあるかの理解。		

教材教具の概要



<使用方法>

・「右から○番目のきらきらください」と伝え、取って教員に渡す。

<材料>

・ビーズ、クリップ、紙

<工夫点>

・生徒が好きなビーズを使った。

・視覚的の手がかりとして右から何番目か左から何番目にあたるかを表示しし、間違わずにできるようになったら手がかりを外して問題に答えられるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

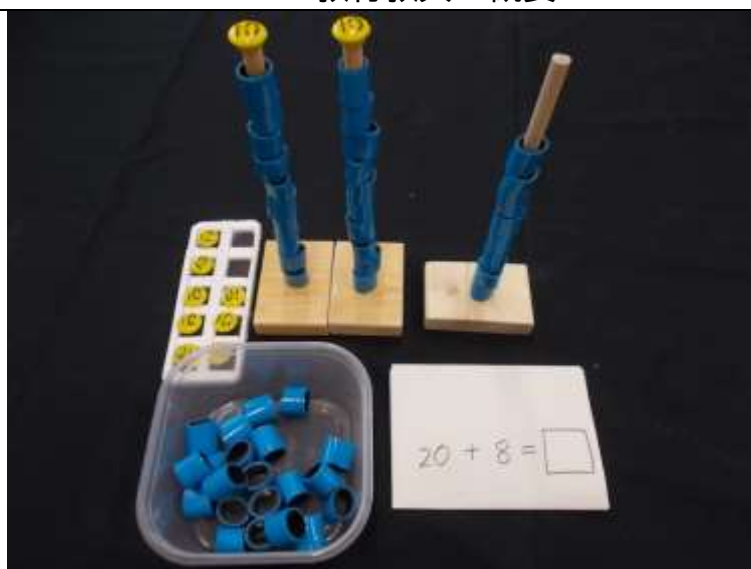
・興味のあるビーズにしたため、飽きることなく取り組むことができた。

令和2年度 教材教具展 (夏季(冬季))

教材教具名	目で見る数	分類	認知★★★★
		授業名	(小学部)

ねらい	・10のまとまりを意識して、たし算の計算をすることができる。
-----	--------------------------------

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ホースを一つずつ棒に通す。
- ・10になったら、棒の上に黄色のマグネットを付ける。
- ・数えて式の答えを求める。

<材料>

- ・木材、ホース、釘、マグネット、ケース

<工夫点>

- ・10のまとまりを意識するため、10個ホースを通したら、**10**のマグネットを付けるようにした。
- ・ホースを縦に積むことで、量を感じられるようにした。
- ・誤飲がないように、ホースを飲み込めないサイズにした。磁石は、学習の終わりに、全部そろっているか一目で確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・10のまとまりを意識して計算ができるようになった。
- ・現在は、 $20 + 80$ や $50 + 6$ などの計算を、この教材がなくても暗算や点を書いて答えを求められるようになってきた。

教材教具名	方向について学ぼう	分類	認知★★★★★
		授業名	国語・数学(高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・物の上下左右の位置を理解する。 ・主語、述語を正しく用いて文を作る。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・アクリルのケースの中や、板の上に物を複数個乗せる。
「〇〇(物の名前)」の「右」にあるものは何ですか?等の質問をして、答えさせる。
- ・状況を表す、「〇〇の右に△△があります。」という文を作る。

<材料>

- ・アクリル板

<工夫点>

- ・アクリルを使い、外から物の確認ができるようにしている。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・自分や友達の持ち物を用いることで興味を持たせることができ、学習意欲が向上した。
- ・質問の中の助詞に着目させることで、主語述語や方向への理解が高まった。

令和2年度 教材教具展 (夏季・冬季)

教材教具名	お金の学習セット ・両替ポケット ・お財布 ・支払いトレイ	分類	認知★★★★★
		授業名	(小学部)

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・金種別に硬貨を並べて、お金を数えることができる。 ・両替の概念を理解する。 ・指定された金額を支払うことができる。
-----	--

教材教具の概要

<使用方法>

- ① 両替ポケットを使って、異なる金種の合計金額を数える学習を行う。
- ② 買い物学習の中での支払い時にお財布と支払いトレイを利用して必要な金額を払う。

<材料>

【両替ポケット】

・クリアケース・透明テープ・お金の写真

【お財布】

・プラスチックケース・スポンジ・フェルト・平ゴム・グルーガン

【支払いトレイ】

・支払いトレイ・ラミネートフィルム・マジックテープ



<工夫点>

- ・スモールステップで少しずつ学習を積み重ねてきた児童にとってわかりやすいように、位わけの色を統一させた。
- ・1円玉×5枚=5円玉×1枚 など、両替の概念を視覚的に伝えるため可動式の両替ポケットを用意した。
- ・お金滑り台で金額を数えることができても、指定された金額を支払うことは難しかったため、トレイを工夫し、自分でそれぞれの硬貨が何枚ずつ必要か確認できるようにした。

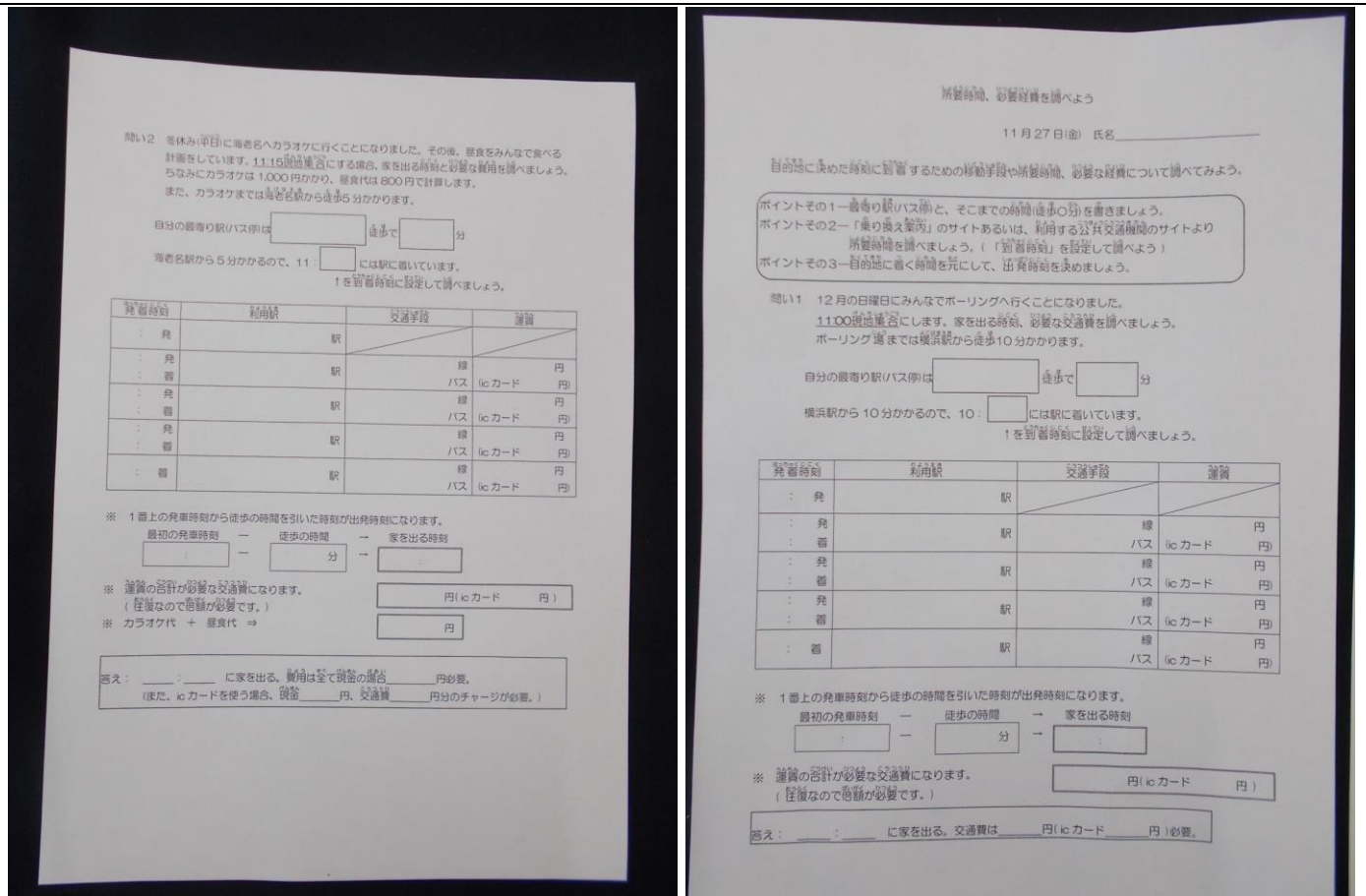
<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・両替の概念を理解し、硬貨を数えることができるようになった。
- ・硬貨を数えることはできるが、支払いが難しかった児童に対して、お金トレイを使用することで、今まで行っていた学習の流れとは逆の発想ができるようになってきた。

(お金滑り台 : お金を数える → 金額を書く
 支払いトレイ : 金額を書く → お金を数えて出す)

教材教員名	待ち合わせ学習プリント	分類	認知 ★★★★★
		授業名	国語・数学 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 待ち合わせるための必要事項を知る。 乗換案内サイトと連動して、出発時刻、必要経費を知る。 		

教材教員の概要



<使用方法>

- PC およびタブレット端末から調べた情報を、プリントに書き込んで使用。順番に書き込むことで、出発時刻や交通費を導き出すことができる。

<材料>

- コピー用紙

<工夫点>

- 記入のポイントを作り、記入がしやすいように工夫をした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 入力した情報の意味の理解につながり、必要な情報を知ることができた。

教材教具名	お箸 寄せる動きの練習	分類	操作 ★★★
		授業名	自立活動 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定して三指持ちができるようになる。 三指持ち箸を持ち、寄せる動きができるようになる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- おにぎりやサッカーボールの模型をスタート位置に置き、箸で寄せて動かし、穴にシュートする。

<材料>

- のりパネル、画用紙、模型、箸

<工夫点>

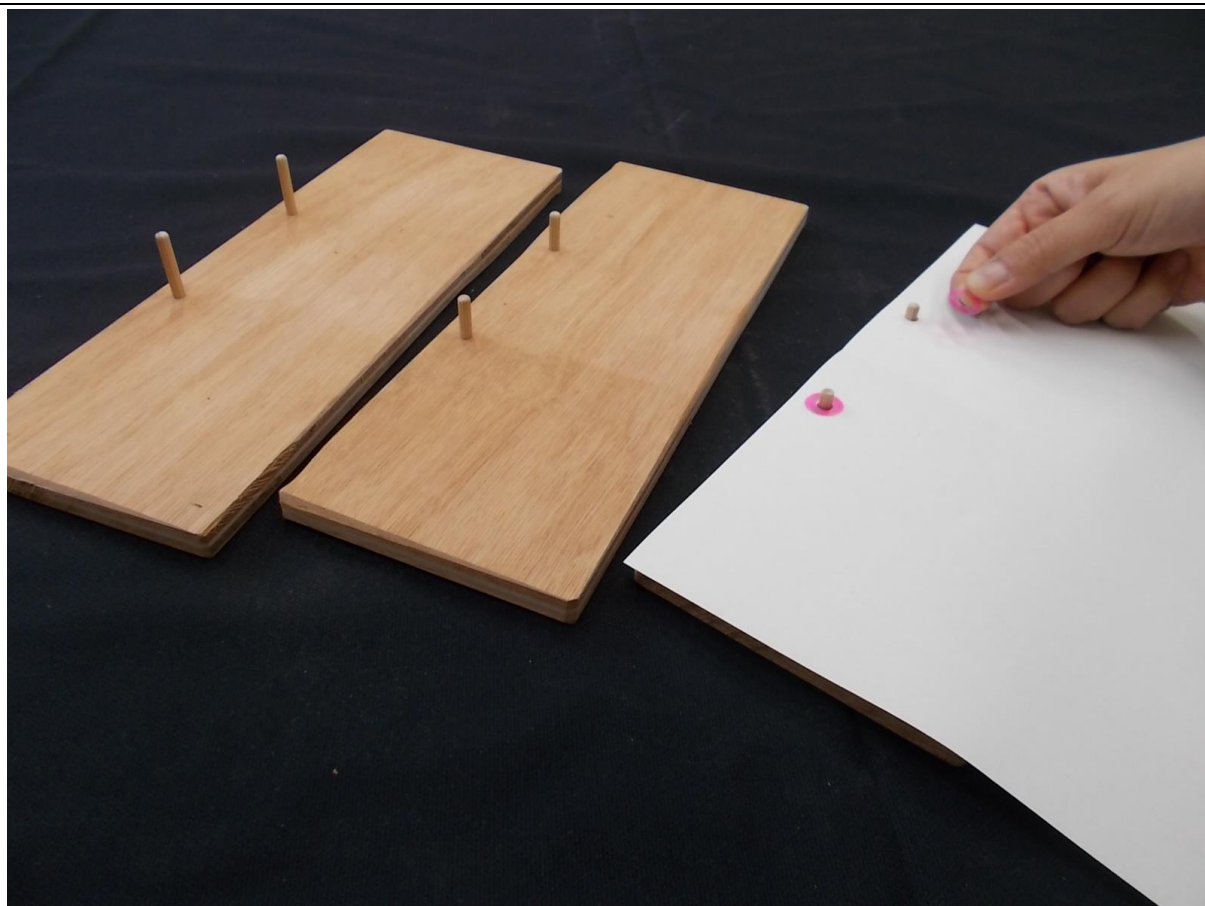
- 壁を作って、おにぎりなどが落ちないようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 今のところ目見に見えた効果は出ていないが、この課題を続けることで安定して三指持ちができるようになっていって欲しい。
- 食事の場面で、白米などを寄せ集める動きが難しいため、この課題を続けることで白米などを集めて食べられるようになって欲しい。

教材教具名	2つ穴用補強シール貼り台	分類	操作 ★★★
		授業名	自立活動 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 2つ穴にシールをうまく重ねられるようにする。 • 慣れてきたらペグを低くしていき、ペグがない状態でもできるようにしていく。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 土台から出ているペグに2つ穴プリント (連絡帳) を通し上から補強シールを貼る。

<材料>

- 木の板、ペグ、ボンド

<工夫点>

- ペグの高さを3種類用意し、高→中→低と使用者の手指の巧緻性に合わせて使う。
- 2つ穴の開いたプリントのホルダーにも使えるので、生徒が数えながら置いていくことにも使用できる。(枚数をかぞえた時など)

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 物珍しくて生徒がよく取り組んでくれた。慣れると、シール貼り台を使用しなくても、しっかり貼れるようになった。

教材教員名	コミュニケーションブック	分類	コミュニケーション ★★
		授業名	日常生活指導
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の要求を2、3語文の定型文で伝える。 自分の要求を伝える練習を繰り返し行うことで、自発的に要求を伝えられるようになる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 机の横のフックに教材をかけておく。
- 要求を伝えたい場面で生徒が教材を手に取り、カードを操作し、「〇〇先生 〇〇〇〇」という文をつくる。
- 教員につくった言葉を伝える。

<材料>

- ファイル、マジックテープ 等

<工夫点>

- 対象生徒がよく使いそうな定型文カードに限定したこと。
- 「おなかがすいた」等の感覚を表す言葉は対象生徒の中でまだ定着していないため、イラストを入れて理解しやすくした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 1つの定型文に関しては、自分でコミュニケーションブックを手に取り、教員に伝えることができた。

教材教具名	「マスクをつける」カード	分類	その他
		授業名	個別課題 (小学部)
ねらい	・ 個別課題に取り組むときに、マスクをつけることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ カードをワークシステムにはる。

<材料>

- ・ ラミネート

<工夫点>

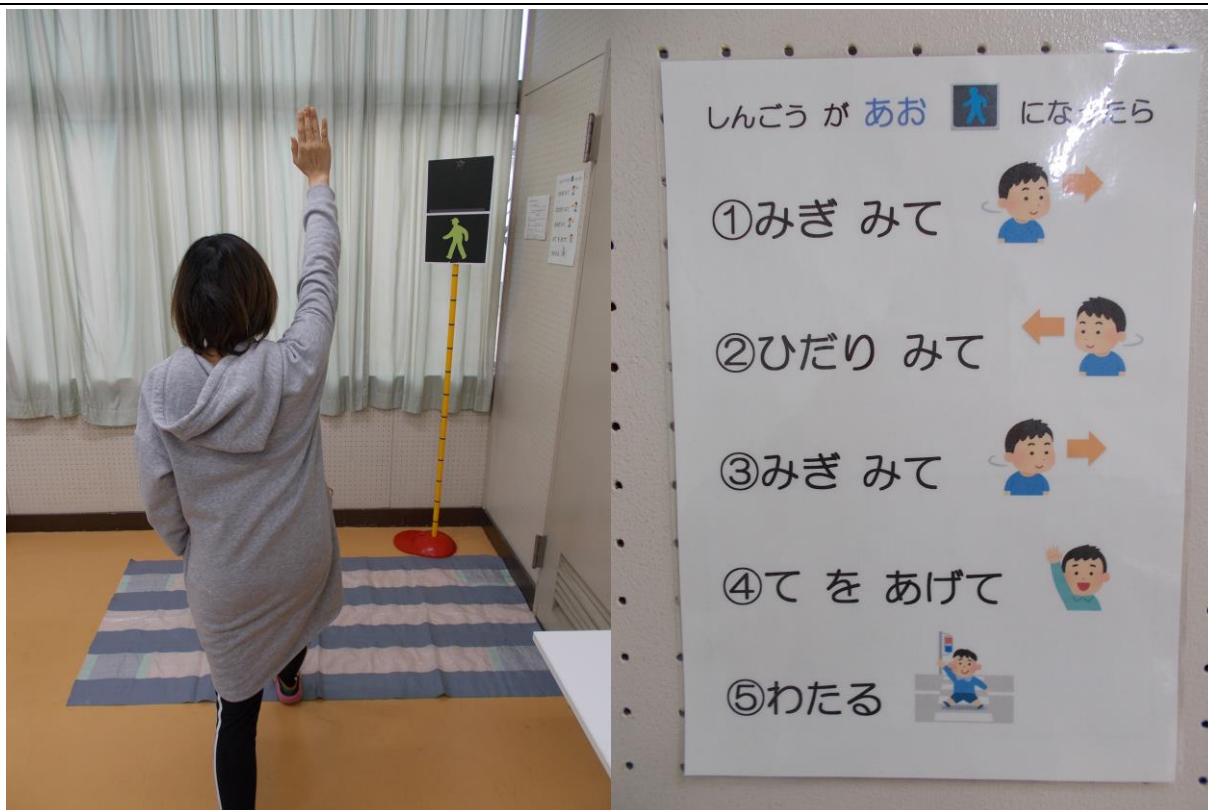
- ・ カードを指差すことで、マスクをつけるという指示が伝わるような絵にしたこと。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ 個別課題を始める前に、確実にマスクをつけるようになった。

教材教員名	歩行者信号機を渡ろう (横断歩道と歩行者信号機)	分類	授業
		授業名	社会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> これらの教材を使い、歩行者信号機を渡る練習(疑似体験)を繰り返し行うことで、実際の信号機でも安全且つスムーズに渡れるようになる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 横断歩道マットを床に敷き(必要に応じてテープ等で床に貼り付ける)、信号機は台座を付けた棒に装着し、赤信号と青信号を手動で操作する。

<材料>

- 横断歩道マット … レジャーシート、ビニールテープ(銀色)、滑り止めシート
- 歩行者信号機 … 厚紙(白、黒)、色画用紙(赤、緑)、テープ、磁石、トイレットペーパーの芯、ヒモ

<工夫点>

- 赤と青の切り替え部分に磁石を付けて使いやすくした。
(白色が入ったストライプ柄のレジャーシートを選び、そのまま白を活かしたこと。(コスト削減))

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 赤と青の切り替えが分かりやすいため、生徒の注目度が高かった。
- 横断歩道マットに関しては、見た目やサイズ感は良かったものの、床から浮きやすく、テープでの固定が必要であったため、安全面や準備の面で課題が残る。

教材教員名	コメントうちわ	分類	授業
		授業名	美術 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品や友だちの作品を観て感じた印象を発表する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- イラストや文字を見て、自分が伝えたい言葉のうちわを上げる。

<材料>

- 大型うちわ、紙 (コメント、イラスト)

<工夫点>

- 生徒たちがイメージしやすい言葉や覚えてほしい言葉を選んだ。
- 誰が見てもわかりやすい表情のイラストを使った。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 気持ちを言語化することや発表が苦手な生徒も、うちわをあげることで意思表示できた。
- うちわの上げ方 (迷いながら上げる、見せつけるように高く上げる など) によっても、生徒の思いが見えた気がする。

教材教員名	バスケットボール (オリエンテーション、 活動の流れ、話し合い)	分類	授業
		授業名	体育 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ICTを使いバスケットボールのことにについてクイズ形式で学ぶことができる。 ICTを使い視覚的に授業の流れについて知ることができる。 iPadを使い話し合いをすることによって、自ら目標や練習内容を考えることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

○オリエンテーション

- クイズ形式のようにしてバスケットボールの歴史やルールについて学ぶ。

○活動の流れ

- 初めに授業の流れを説明するときに使う。また、それぞれの活動内容を説明するときに使用する。

○話し合い

- 話し合いの時間をとり、キャプテンを決め、キャプテンが話し合いを進めるときに使用する。
- 目標を決めた後、練習を決め、その後練習内容の動画を見て、スムーズに練習に取り組む。

<材料>

- iPad (Keynote)

<工夫点>

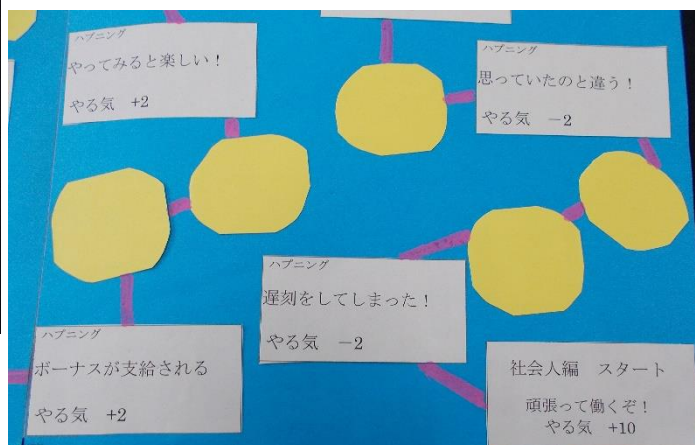
- ICTを利用しクイズ形式にすることで楽しみながら学ぶことができる。
- 視覚的に流れを伝えることで何をするのかわかりやすくした。
- わかりやすいように目標や練習を色で分けたところ。
- タッチすると次の目標や練習、動画などにとびることができる。また、戻るボタンをつけることで選りなおすこともでき、生徒たちで進められる。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 言葉だけでバスケットボールの歴史やルールを伝えてもなかなか伝わらないところが、ICTを利用し視覚的に示すことで、理解がしやすくなった。またクイズ形式にすることで、興味を持たせることができ、参加者全員が楽しみながら学ぶことができていた。そして、授業後も学んだことを話してくれるほど定着していた。
- iPadを使い話し合いをすることによって生徒たち自身で進めることができた。
- 目標を決めた後、練習を決め、その後練習内容の動画を見て、スムーズに練習に取り組むことができた。

教材教員名	進路スゴロク	分類	その他
		授業名	進路学習（総合） 分教室
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分のモチベーション（やる気）に影響を与えることについて考える。 		

教材教員の概要



<使用方法>

- スゴロク版を広げ、4~5人で1つのボードを使って行う。
- 1プレイした後、ワークシートを配布し、「やる気」をあげて考える。
- 追加ハプニングとして、「やる気」をあげて空いているマスに追加し、再度プレイする。

<材料>

- 画用紙、付せん、ワークシート、6面サイコロ、駒

<工夫点>

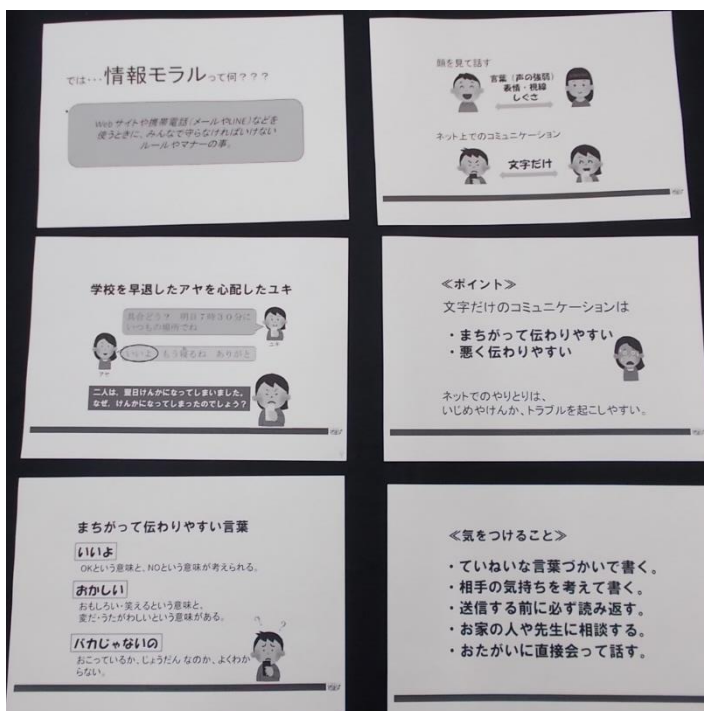
- 実習で起こりそうなことを“ハプニング”とした。
- 「やる気」の下がることを多めに“ハプニング”とし、ワークシートではやる気をあげて中心に考えられるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- モチベーション維持手段に意識を向けることができた。
- ゴールの難易度が難しすぎず簡単すぎず、丁度よく、生徒の中にはなかなかゴールできなく（何度も面接を受ける）イライラする者もいたが、その感情体験も含めて振り返りを行えた。

教材教員名	情報モラルについて	分類	その他
		授業名	情報（分教室）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルに関して、理解と関心を高める。 情報モラル違反に危機感を持つ。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・パワーポイント、大型テレビに表示し、言葉での説明とともに、視覚で理解できるようにする。

<材料>

- ・授業用PC、大型テレビ

<工夫点>

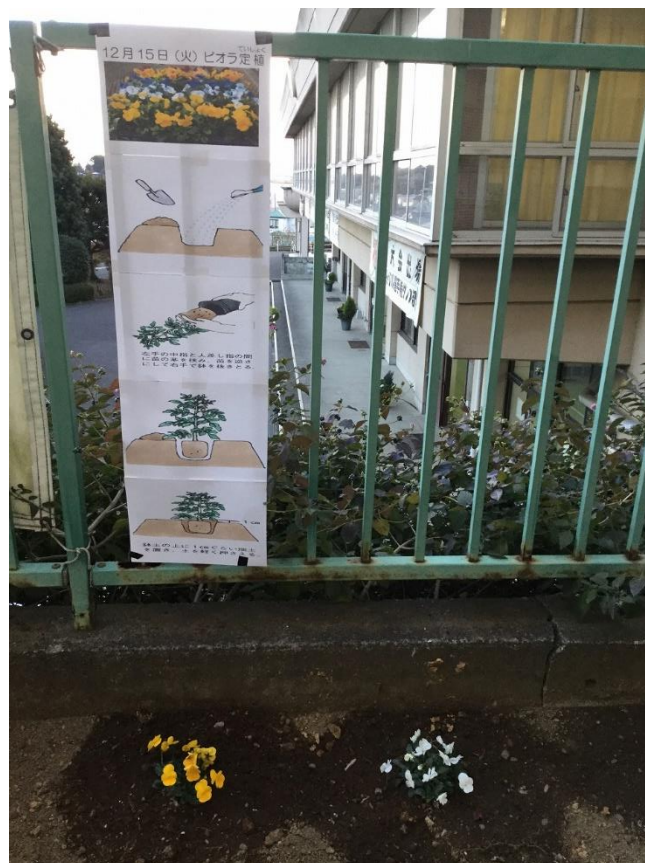
- ・生徒の日常を事前に聞き取って、身の回りであるであろう事例を中心にした内容となっている。日常の中でも、モラル違反をすると、場合によっては罪に問われるようなことを混ぜ込み、注意喚起するような内容とした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・生徒からの反応や感想を集約してみたところ、「初めて聞く内容だった」「思い返すと過去にやってしまった事があって、すごく怖くなった。二度とやらない」等、興味と危険と認知してくれるような反応が返ってきた。

教材教具名	苗植え手順シート	分類	その他
		授業名	職業（分教室）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗植えの手順を見て活動ができる。 ・ 手順を忘れても、見直すことができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ 花壇の柵に手順シート貼り、教員が手順シート通りに手本を見せ、生徒が手順書の見本を見て苗植えを行う。

<材料>

- ・ 画用紙5枚

<工夫点>

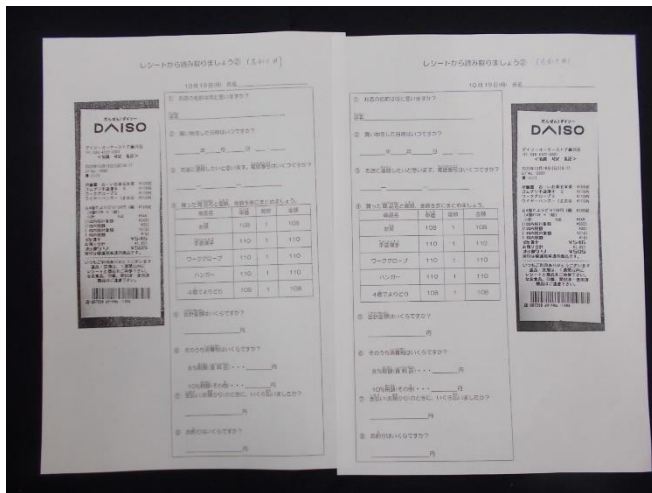
- ・ 目の前にある柵に貼ることにより、作業をしながらでも見るようにした。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・ 手順を覚えることに苦手さのある生徒や見通しが持てないと行動できない生徒が、安心して作業に取り組むことができた。一緒に行った技能員さんに上手に作業していたとほめてもらった。

教材教員名	左利き用 学習プリント (消費税の計算)	分類	その他
		授業名	国語・数学(高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 左利きの生徒が表を見る際、課題に取り組みやすくする。 		

教材教員の概要



<使用方法>

- 課題学習で、左利きの生徒がいる場合に使用する。

<材料>

- コピー用紙

<工夫点>

- 表の配置を変えることで、左手で表が隠れないようにしてみた。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 左利きの生徒がストレスを感じることなく、課題に取り組むことができた。

教材教員名	国数課題ボックス	分類	その他
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 授業の準備片づけを自分で行う。 物を丁寧に安全に運ぶ練習をする。 		

教材教具の概要



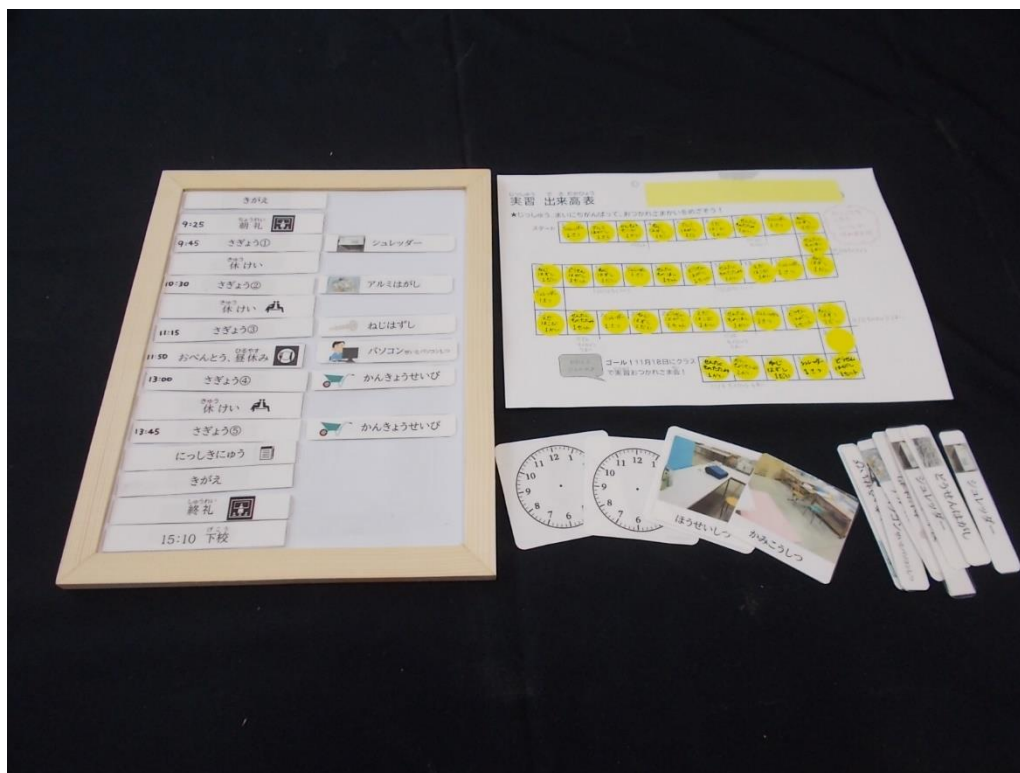
- <使用方法> ・授業前にボックスを指さして見せて、次の授業の準備をすることを知らせる。
 ・課題ボックスと終わった課題を入れるかごを決められた場所まで運ぶ。

- <材料> ・段ボール、持ち手、紐

- <工夫点> ・腕力がなくても持てるように持ち手をつけ、持ち上げたときに課題がこぼれないように少し傾くようにしてある。

教材教員名	校内実習スケジュール表	分類	その他
		授業名	校内実習 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って実習に取り組む。 ・モチベーションに繋げる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・1日のスケジュールを順番に貼る。仕事内容については、生徒が選択できるように複数準備しておいて、目標の個数を選ばせる。
- ・生徒のモチベーションに合わせて、仕事を行う時間帯の調整をする。

<材料>

- ・ホワイトボード、磁石、ラミネートフィルム

<工夫点>

- ・視覚的に分かりやすいように、簡潔な内容にし、イラストや写真の挿入をしている。

<使ってみてよかったところ、効果等>

- ・スケジュール表を用いながら生徒とコミュニケーションを取り、モチベーションに合わせて順番を調整しながら取り組むことができた。

教材教具名	誰でも簡単！リースBOX	分類	授業の工夫
		授業名	美術（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な手指動作が難しい生徒が、リースを作ることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- リース台の代わりに、フードカップの中に好きな素材を入れる。

<材料>

- 使い捨てフードカップ（フタつき）、紙コップ、造花やペーパークッション等の飾り
 ＊フードカップの真ん中をくりぬき、紙コップを入れて高さをそろえ、底面をカットする。
 ふたが閉まるよう高さを整えて接着する。

<工夫点>

- 高さがあるフードカップを使うことで、大きさのある飾りも入れることができる。
 （手指動作が苦手な子でも入れやすい。）

<使ってみてよかったところ、効果等>

- 授業に参加した生徒全員が、リース作りに参加し、完成することができた。